

平成24年度 学校給食食材等放射性物質濃度測定結果一覧(県立学校分)

(食材)

番号	測定日	食材名	産地	給食施設名	食材使用予定日	測定結果(単位:ベクレル/kg)			測定場所
						セシウム134	セシウム137	合計	
1	H24.7.18	サニーレタス	岩泉町	岩手県立盛岡峰南高等支援学校	H24.7.18	不検出(<6.1)	不検出(<5.2)	不検出(<11.3)	岩手県立盛岡峰南高等支援学校
2	H24.9.5	ねぎ	久慈市	岩手県立久慈拓陽支援学校	H24.9.5以降	不検出(<9.8)	不検出(<8.6)	不検出(<18.4)	岩手県立久慈拓陽支援学校
3	H24.11.12	柿	盛岡市	岩手県立盛岡視覚支援学校	H24.11.28	不検出(<5.2)	不検出(<4.9)	不検出(<10.1)	岩手県立盛岡視覚支援学校

◇測定機器 NaI(Tl)シンチレーションスペクトロメータ (型名等 RAD IQ FS300)

◇測定時間 1200秒(20分)

【参考】 国が定める食品中の放射性物質の一般食品の基準値・・・100Bq/kg(セシウム134とセシウム137の合計値)

○検査結果の数値の意味

「不検出」とは、測定の結果、「測定下限値(<〇〇)未満」であったことを表します。

「(<数値)」は、放射性物質の量を示すものではなく、測定下限値(検出できる最小値)を意味します。

○測定下限値とは

測定下限値とは、測定において検出できる最小値のことをいいます。たとえば、「<10」とあるのは、検出できる最小値が10Bq/kgであることを意味します。

また、「<10」の10という値は、機器の精度等を示すものであり、「<10」と標記された食材が「<5」と表記された食材より放射性物質が多いということではありません。

さらに、同じ機器で測定しても、測定原理上検体ごとに測定下限値は異なります。